

# S.G. Report

北九州学術研究都市、JICA九州、熊本大学に協力していただき、1年SGコースの68名はそれぞれが希望するところで2泊3日の研修を行いました。まず20名の生徒が北九州学術研究都市へ以下の日程で研修に行きました。

## 1年SGコース夏季研修 北九州学術研究都市

【研修日程】日 時：平成29年8月2日（水）～平成29年8月4日（金）

1日目 午後 開校式

〔研修1〕北九州学術研究都市の概要説明など

〔研修2〕北九州学術研究都市ツアー

（共同開発研究センター、自動車開発センター、ロボット開発センターなど）

〔研修3〕留学生とのグループ交流

（自己紹介、アイスブレイキング、国際学生の国の紹介、大学生活紹介、環境に関する質問など）

〔研修4〕本日の振り返り、翌日の準備

2日目 午前

〔研修5〕留学生とのグループ交流

〔研修6〕フリーインタビュー準備

\*ポスタープレゼンに向けてのデータ収集を兼ねたフリーインタビューの準備

\*アンケート結果検証のために、グループごとのテーマに沿ってアンケートの取り方などを留学生にアドバイスをもらいながら準備

午後

〔研修7〕フリーインタビュー（グループ活動）

〔研修8〕国際学生による（環境または研究活動に関してモデルプレゼンテーション）

〔研修9〕ディスカッション・まとめ

グループごとに交流で学んだ内容をまとめ、翌日の発表の準備を行う。

国際学生はいずれかのグループに固定でサポートに当る

〔研修10〕本日の振り返り、翌日の準備

3日目 午前

〔研修11〕グループによる英語プレゼンテーション

閉校式



### 【生徒の感想】（抜粋・おおむね原文のまま）

●私はこの3日間で外国人と話す時間をたくさん得ることができました。最初は言っていることを理解できるか、会話になるか、フリーインタビューはできるか、など多くの不安がありましたが、実際に話してみると、案外会話ができるものなのだとわかりました。私がコミュニケーションをとる中で大切だと思ったことは、「アイコンタクト」「相手が話す言葉に全ての意識を傾けること」「とりあえず言葉を発してみること」「わからないことは素直に言うこと」。たくさん頭を使い、少し疲れましたが、とてもワクワクした活動だったので、今後もこのような機会があったらいいなと思いました。逆に、自分にまだまだ足りない部分もたくさんありました。まず、知らない単語がとても多いことです。文法など以前に、単語の意味を知らなければいけないと痛感しました。

これからの単語テストを1回、1回大切に、知識をもっと増やしていこうと思いました。次に、ナチュラルな発音です。ある熟語でも、単語同士の間をつなげたり、アクセントをつけるところ、切るところなどは、ネイティブの発音を聞いて知ることしかできないので、しっかり吸収しなければならぬと思いました。2日目から、3日目にかけて制作、発表したプレゼンテーションは、とても難しかったです。「準備」の大切さを学びました。ポスターでは、6班のインターネットの検索画面に見立てたデザインがとても個性的で、おもしろいと思いました。プレゼンテーションでは、点数でも1位だった1班がやはりすごいと思いました。どこが特に違っていたかという、それは発表内容をある程度覚え、ほとんど紙を見ず、聞いている人にアイコンタクトをとりながら発表していたことだと私は感じました。聞いている側も意識を向けて聞こうという気持ちになりました。これもやはり入念な「準備」があってこそだと思います。これからは、まずは単語、次に聞く力、そして自分から表現できるよう学んでいきたいです。

●私は研修を通して、主に3つのことを学びました。1つ目は、異文化についてです。1日目のインタビューで色々な国の文化に触れ驚くことがたくさんありました。自分たちは宗教について発表しました。その時にインタビューした人は、宗教を信仰しない人でしたが、その人の国では仏教の授業もあるそうで、とても困惑したろうと思いました。宗教の授業があることも文化の違いなのだろうと考えました。2つ目はあたり前のことですが、英語の便利さです。留学生は、皆、英語が上手で、笑顔でコミュニケーションがとれており、英語はまさに「パワーツール」だと感じました。これからもっと学



び、交流の幅を広げていきたいと思っています。3つ目は伝える大切さです。ポスター発表の際、自分の知識を伝えようとすると、相手側も一生懸命聞こうとしてくれました。それも、コミュニケーション能力の1つだと考えるので、もっともっと高めていきたいです。これからは海外の方との交流が増えていくと思うので、有言実行できるように、頑張っていきたいです。



●今回の研修を通して外国の人とコミュニケーションをとることの難しさがとてもわかりましたし、どうにかして伝えることができたり、理解することができた時の喜びを得ることができました。このSGクラスに入って英語や発表の練習は学校でしていましたが、いざ実際にやってみると、話すスピードはとても速く、上手くコミュニケー



ーションがとれませんでした。しかし、研修を通して少しずつ慣れていき、相手の言いたい内容と強調したい部分かわかるようになってきました。やはりコミュニケーションは、文法の勉強とは違って机に向かってではなく、話す、聞く、という動作を実際にやってみるからこそできるものだと思います。留学生も色々な日本語を聞き、日本語学習のために日本映画を観たりしたそうです。僕も文法や単語の勉強に加えてこの方法を実践し、コミュニケーション能力を高めていきたいです。また、3日目に発表したのですが、伝えるには、ただ英語をしっかりと話せばいいのではなく、色や文字の大きさ、声の大きさ速さはとても重要で、プレゼンで色や枠が使ってあると実際に印象的に残るそうで、

モデルプレゼンをしてもらった時にその効果が具体的にわかりました。伝えるには高い英語力は必須ですが、上手に伝えるためのスキルも同じくらい必要だと思います。今後のプレゼンに生かしていきたいと思います。今回、行った施設には、6人以外にもたくさんの外国人がいました。このようにグローバル化が進んでいるので今回学んだことを生かし、今後の学習を進めていきたいです。



●僕は、研修を通して自分の英語力の無さを痛感しました。外国の人と話をしている中で、自分の英語が伝わったときは嬉しかったのですが、聞き取れなかったり、あと少し言いたいことが言えなかったり、「こういったことを話すことができれば、この会話も弾むのに」という場面がいくつもありました。また、プレゼンの準備を班のメンバーとしている中で、意見が食い違ったり、まとめる作業がなかなか難しかったです。しかし、プレゼン本番では、自分の作った原稿を英語で話すことができました。アイコンタクトや声の大きさなどにも注意してプレゼンをすることができました。留学生の人たちはとても優しく、どんな質問をしても丁寧に返してくれたことが助かりました。今後、英語の技術はもちろん、リスニング力などを付けて外国の人たちとスムーズに話せるように頑張っていきたいです。また TOEIC や英検などにも積極的に挑戦していきたいとも思いました。また、隙間時間を使って単語を覚えるなどして、コツコツと積み重ねることも大切にして頑張りたいと思います。

